



美しく豊かな自然とともに発展していきたい

交通体系や道路網の整備、資源循環システムの充実など、環境と調和した住みよい都市空間の実現に向け、積極的に取り組みを進め、市民が快適に暮らす、魅力あるまちづくりをすすめます。

第一章 環境と調和し 快適に暮らす魅力あるまち 環境に配慮しながら 住みよい空間づくり

中心市街地に、 人が集う快適な空間を...

- 中央街区における日赤・婦人会館跡地の市街地再開発事業は、事業の具体化に向けて、引き続き地元のかたや関係機関と話し合いを進めます。
- 秋田駅東口に建設を予定している（仮称）拠点センターは、中に配置する公共施設などを検討しながら、基本計画の策定を進めます。
- 秋田駅前北第一地区の市街地再開発事業や、楢山地区の造り酒屋、中通の市民市場の優良建築物等整備事業を引き続き支援します。市民市場は、平成十五年度の完成をめざし設計や解体、整地、建設を行います。
- 市営バスの事業改革と呼応しながら、秋田市に適した新たな公共交通システムの導入について、可能性を検討します。そのため、高齢者などの市民ニーズを把握するアンケート調査を行います。
- 高速道路となる日本海沿岸東北自動車道の早期整備を国などに働きかけます。また、秋田自動車道の利用促進のため、引き続き割引回数券の費用の一部を負担します。
- 道路の形状が悪く、渋滞が著しい交差点を計画的に改良します。今年度は土崎商店街の秋田信金土崎支店前の交差点の調査や設計を行います。

秋田市の 財政状況を 見てみる。

財政に関するいろいろな指標を調べて、秋田市の財政状況がどうなっているのかわてみました。（11面まで続く）

財政構造の弾力性を示す

経常収支比率

70～80%程度が適正

市の支出のうち人件費や公債費(借金の返済)など、毎年度経常的に、必ず支払わなければならない経費を「経常的経費」といいます。

また、市税や地方交付税、地方譲与税など経常的に入ってくる財源を「経常一般財源」といいます。

基本的に使い道が自由な経常一般財源の中から、必ず払う経常的経費に充てられる金額の割合が「経常収支比率」です。比率が低ければ、自由に使えるお金がたくさん残ることになりますので、公共施